

町長室から

立春が

過ぎ、もうすぐ春がやってきます。

日の出が早くなり、日の入りも遅くなって1日が随分長くなったような気がする最近ですが、季節的にも変わりやすい天候と異常寒波が日本列島に襲来しており、インフルエンザが蔓延して各地で学級閉鎖や学校閉鎖が相次いでいます。皆さんの対策は大丈夫でしょうか。

アメリカの議会は厳密な三権分立のため大統領に法案提出権がないことから重要な内外政策に関して教書の形で議会へ送る政策指針書が「一般教書」「経済教書」「予算教書」といわれています。

アメリカのトランプ大統領は就任から1年を迎えて、どのような「一般教書演説」が注目していましたか、アメリカファーストで国内融和を訴えかけて、あまり過激な言葉は使っていないとの高い評価もある一方で、就任演説では同じく国内融和を訴えながら翌日にはツイッターで問題を起す発言をして別人格に戻ったというようなことを繰り返

返しています。

世界経済フォーラムのダボス会議では自身の最大の公約を覆してアメリカのTPPへの復活もあるような発言もあり驚かされましたが、どこに本心があるのかわからないという受け止められ方もされているようです。

国の2・7兆円からなる平成29年度補正予算が成立し、平成30年度予算も参議院で審議入りし、年度内成立は確実視されています。

浦幌町の平成30年度予算も厳しい地方自治体の財政状況の中で、将来のまちづくりを進めていくための予算編成を行ってまいりましたが、3月5日に開会する第1回定例議会へ予算(案)を上程して、議会での審議をしていただく運びになりました。

3月議会では平成30年度予算(案)審議とナイター議会での一般質問がありますので、多くの町民の皆さんにも傍聴していただき、まちづくりの進め方にご理解をさせていただく機会になればありがたいと思います。

1月13日に「浦幌乳業(株)」が

創立30周年の節目を迎えて式典が開催されました。

同社は昭和28年森永乳業(株)十勝工場として操業開始して以来60年以上の歴史を有しておりますが、昭和63年に全脂練乳、全粉乳の需要減少に対応し、工場の集約、合理化を図るため、森永乳業(株)十勝工場は閉鎖が決定されましたが、工場の存続を願う浦幌町民、関係者の強い意志を背景に第3セクターとしての浦幌乳業(株)が設立され森永乳業の製造委託で操業を継続してきました。

しかし、その後の経過にともない施設の老朽化が避けられず、施設の改築などの投資負担及び経営リスクなどを考えると第3セクター方式の運営では限界があり、永続的な経営を図る為に再度森永乳業の経営責任の下に事業を進めていくことで合意し、平成22年に浦幌町及びJAUらほろが所有していた全株式を森永乳業(株)に譲渡したものです。現在は平成25年に完成した新製造棟の下、年間集乳量10万トン以上を誇り、大生産基地とし

て十勝管内でも有数の企業に発展しています。

操業継続を決定した事など、これまでの関係者のご慧眼と努力に感謝した式典になりました。また、商工会青年部の創立50周年式典も開催されました。

浦幌町の活性化には若い人材の活躍が欠かせない中で、青年部のバイタリティーと行動力にはますます期待が高まる場所です。

友好の町絆協定と災害時相互応援協定を締結している洋野町の水上町長さんが1月の選挙で無投票当選を果たされました。

洋野町長杯パークゴルフ大会などで、来町される事が多くあり、町民の皆さんとも親しく交流していただいておりますが、これからも浦幌町に対してご指導を賜りたいと当選の祝いとともにお願いのご挨拶をさせていただきます。

浦幌町長 水澤 一廣